

## 下水道用レコサル製品の製造・販売を開始 ～佐賀県多久市においてレコサル※1製品製造プラントが竣工～

記者各位

新日本石油株式会社(東京都港区、社長:西尾 進路、以下「新日石」という。)が製造する「硫黄中間資材」(硫黄ポリマー※2(レコサールの中間製品))を材料として、不二コンクリート工業株式会社(佐賀県武雄市、社長:入江俊介、以下「不二コンクリート」という。)が下水道用レコサル製品(下水管、マンホール等)の製造・販売を本格的に開始することになりましたので、お知らせいたします。

本製品の製造技術は両社にて共同開発したものであり、本年11月28日には、不二コンクリート多久工場(佐賀県多久市)内に本製品を年間5,000トン製造するプラントが竣工いたします。

レコサルは、製油所の副産物である硫黄を有効利用する技術として新日石が開発した独自の製品です。製造過程で排出される炭酸ガスの量がセメントコンクリートに比べ少ない(新日石試算)ことに加え、高強度で遮水性に優れ、耐酸性が高いという特長があり、下水道用資材として利用することで構造物の耐久性向上、および維持管理コストを含めたライフサイクルコストの低減が図れます。

さらには、塩化ビニール管と同等の製品内面の滑らかさを有することや、改修等により撤去された場合でも、熱を加えて溶解することで骨材と硫黄ポリマーに分離でき、再混練することで元の製品に復元することが可能であることから、環境にやさしい高付加価値製品として、日本のみならず海外へも幅広く普及することが期待されます。

※1 レコサルとは、130～150℃の硫黄に添加剤を加えて製造した改質硫黄に石炭灰等の微粉末を加えた「硫黄中間資材」と、碎石、ケイ砂、砂等の骨材を混ぜ合わせ、型枠に流し込み徐冷して固めたコンクリート状の建設資材です。レコサールの高効率製造システムは財団法人石油産業活性化センターの事業として開発したものです。

※2 硫黄を添加剤により高分子化し、一定量の石炭灰と混合することで非危険物としたレコサールの中間製品です。

以上

### 【製品に関するお問い合わせ先】

不二コンクリート工業株式会社 レコサル事業部 0954-23-1211

### 【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

新日本石油株式会社 広報部 03-3502-1124

別添資料  [レコサル製品製造工場の概要](#) (PDF:114.8KB)